

お友達を感じながら

きりん組担任

各々が自分の世界で好きなことを楽しんでいた4月。

最近、同じ空間で遊んでいるお友達をチラチラと見ながら、“おんなじようにやってみたいな”と真似して遊ぶことを楽しんでいます。お友達が積み木を高く積んでいたら、自分も同じように積んでみたり、料理を作って先生に持って行くのを見たら、同じように「お料理食べて！」と持ってきたり…。そして同じようにやっていると、いつのまにか一緒に積み木を積んでいたりと、積み木が崩れて笑い合っていたり、料理を一緒に混ぜていたりして、友達を感じながら遊ぶ楽しさを味い始めたようです。

もちろん先生のそばにいて安心するお友達もいます。けれど、私が他の子の作った料理を食べていると、隣で「スプーンないじゃん。取ってきてあげる！」と言ってすーっとそばを離れて取りにいったり、ご飯を一緒に食べてみたり、「〇〇くんが虫を見つけたみたいだよ！」と私が向かおうとすると、それを追い越して、友達が発見した虫をいち早く見に行ったりと、お友達の存在によって、ドキドキした世界から楽しい世界へと少しずつ変わっていくのを感じます。

今日は、園庭で泣いているお友達に、一人の子が葉っぱをプレゼント。その様子を見た別のお友達もあげたくなって、「はいどうぞ！」と次々と渡してあげていました。「あの子がね」「あのヒトが・・・」と名前はまだ習得中ですが（笑）、今日もきりん組では、隣にお友達を感じながら、嬉しそうに遊ぶ声が響いていました。

